

聖徒の道



末日聖徒イエス・キリスト教会



表紙の説明

数千、数万の観衆が全世界から訪れて来る temple、スクエアには花崗岩の土台の上に等身大の予言者、ジョセフ・スミスの青銅の像が建っている。

ジョセフ・スミスの像を彫刻したのはマホリ・ヤングであるが、彼はジョセフのデスマスクを側に置いて工作することを許されたと言われている。そして彼はジョセフ及びハイラムにその体格の似ているハイラム・スミスの子孫を選んで、その体の彫刻のポーズを取らせた。

予言者はモルモン経の写しを握っている。彼の手は、強い働らく手として真実に型造られている。彼の顔は力がこもり靈的な焔に燃え、しかもやさしさがただよっている。その顔は状況に応じて厳しく命ずる人ともなり、又やさしく暖い慰める人ともなる。自尊心に富んだ顔ではあるが而もけんそんで天よりの啓示にその心を開き神に全幅の信頼をよせている。それは多くの仲間を、認められた常規のためしの生活から新しい奇しき思想や行動の分野に導き、且つ他の人々の見ない処を見る、人々から起然とした独特の顔である。

此の像の側面にはジョセフの靈的な教えの或る言葉が彫まれている。

ジョセフ・スミスの土台の西側に次の文がある。

ジョセフ・スミス

我々の主イエス・キリストの福音の新しい、神権の時代の予言者、彼はヴァーモント州、シャロンで1805年12月23日に生れた。

そして神の言葉とイエスの証詞の為に1844年6月27日にイリノイ州カーセージで殉教した。

次に「彼の示現」及び「モルモン経」に就ての簡単な声明があり、更に次の碑文がある。

教会の組織

ジョセフ・スミスは天使の導きと教えによつて福音を説き、儀式を執行する聖なる権能を受けた。彼は1830年4月6日此の地上に再びイエス・キリストの教会を神の意志と誠命によつて組織設定した。

彼は又イスラエル人を集合してこのアメリカの地にシオンを設定すること、神殿を建て、生ける者死せる者に対し儀式を執行すること、及び此の地上を統治する為に主イエス・キリストが栄光を以て来たる、その到来の為に準備することを委任されたのである。



ハワイ伝道本部 (デルモント・ロー長老撮影)

聖徒の道

目次 一九五九年八月号

【予言者のことば】

「強き」飲料と智恵の言葉……

大管長 デビッド・O・マッケイ……2

【伝道部長メッセージ】

性的な罪悪は 殺入罪に次ぐ大罪……………ポール・C・アンドラス……5

「再降臨」……(モルモンの教義)……………佐藤竜猪……8

【極東に於けるモルモン】

私の改宗……………柳沢俊雄……11

私の改宗……………吉宗 つたの……12

新年度M・I・Aプログラムと献身的な指導者……………黎 天 帆……16

家譜と族譜(系図)……………黎 天 帆……14

丁重な物腰で辻説法……………黎 天 帆……20

「地方紙に紹介された宣教師たち」……………黎 天 帆……20

ソルト・レイク神殿献堂式の祈禱(五)……………黎 天 帆……22

今月の出来事……………黎 天 帆……22

「ブリガム・ヤングの死」……………黎 天 帆……23

モルモン経(金版)三人の見証者……………黎 天 帆……24

モルモン経物語(二二二)……………黎 天 帆……25

伝道本部だより……………黎 天 帆……29

「読者の交歓室」……………黎 天 帆……29

大空を通じて交歓したい……………佐藤泰生……30

刺 激 物……………武川忠義……30

よいこと、好ましきこと……………早川嘉春……31

「強き」飲料と智恵の言葉

大管長 デビド・O・マッケイ

千八百三十三年二月廿七日、予言者ジョセフ・スミスは教義と聖約第八章にのっている啓示を受けた。それには次のように書いてある、すなわち「見よ、誠に主はかくの如く汝に告げたまう。すなわち、末の世に於いて悪しきを企つる人々の心中に現在存し、また将来在らんとする悪と企図とのために、われ啓示によりてこの智恵の言葉を与えて今や汝らを警め、また汝らを預め警むるものなり」。

「すなわち、汝らの中に葡萄酒または『強き』飲料を飲む者あらば、見よそれは宜しからず、また汝らの御父の眼にも適わざるなり」（教義と聖約八九〇四一六）と。

これこそ現代の人々にたまわった神の御言葉である。それは「人もしみところを行わんと欲せば、この教の神よりか、わが己より語るかを知らん」（ヨハネ伝七〇十七）という救い主の御言葉によって力を發揮する。当教会の会員は皆この救い主の御言葉が本当であることをよく知っている。また、もしも人が神のみところを行なうならば、その人は心の中にイエス・キリストの福音が真実であるという証詞を受けることを、われわれは証している。われわ



それは「汝ら悔改めずば、皆同じく亡ぶべし」(ルカ伝三〇三)という救い主の御言葉を受け入れている。この永遠の真理は非常に簡潔に言い表わしてあるが、われわれは真理であると信じている。われわれはこの真理を完全に履み行つてはいないかも知れないけれども、これが神の御言葉であるから一同と共にこの言葉を受け入れている。

「強き」飲料は人のために宜しからず、この真理は実に強く、実に永遠に変わることなく続く。これまでに多くの歳月が経過して、その間にこの教義は毎日と言われないまでも、毎週イスラエルのいくつかの集りの中で説き聞かせられている。しかもなお、われわれの中に自分たちの行いによってそれは人のために宜しいと言う人々が交っている。私はこの一節をくわしく調べたとき、主が「強き飲料を過ぐすときは宜しからず」とかまたは「酔うことは宜しからず」と仰せにならなかつたことを知って喜ばしく思っている。仮に、主が御言葉を加減して「過度の強き飲料、または強き飲料を大量に用いるときは宜しからず」と仰せになって、その表現を弱めになったとしたらどうであろうか。人はどんなにかすぐに、少量飲むのは宜しいと自己弁護をしたことであろうか。しかしながら、ほかの永遠の真理と同じように、それには条件がついていない、すなわち「強き」飲料は宜しくない。

私はこれまで「もし甘みのあるなら少し飲む」(アンコマン)

性飲物を用いる特権を奪い取られたくない。それが私のためにならうとしていると考える時に、私は少量を用いたい」と言った人々に逢つたことがある。ほかの人たちは、教会は智慧の言葉に関して少々厳しすぎると言うであろうと、私はむしろ考える。この人たちは「少量のビールは誰にも害を与えない」と言う。

私は、神が「強き飲料」は人に「宜しからず」と仰せになつたことを知れば充分である。私は教会の全会員がこの神聖な御言葉を受け入れて、自分たちが神の賜うた啓示としてこれを受け入れていることを実際の生活に於いて全世界に証明するように願っている。私とヒュー・J・カノン長老とが千九百二十一年に美しいタヒチ島を訪れた際、当時政府のスクーナー型帆船の船長をしていた当教会の会員、ヴァイオ船長にまつわる或る出来事を聞き及んだ。タヒチ島に新しく任命された長官はその船の検閲に来るはずであつた。そこで、ヴァイオ船長とその同僚とは彼らの船を飾り、食卓の上に果物やごちそうを並べて長官を迎えるにふさわしい適切な歓迎会を用意した。一杯の葡萄酒が各々の皿のあたりに置かれてあつて、全員は適当な時に乾杯の辞に応じ、長官の健康を祝してこれを飲むつもりであつた。ところが一つの例外があつた、すなわちヴァイオ船長の皿のあたりには一杯のレモン水が置いてあつた。これを見

が機嫌を悪くするにちがいないと抗議をした。このような抗議が多く出たにもかかわらず、ヴァイオ兄弟は乾杯の辞が述べられたときにはレモン水だけ飲むんだと主張した。

その時歓迎の挨拶をするのはヴァイオ船長の責任でありまた名譽でもあったが、彼はその挨拶を述べその言葉を終るに当って次のように説明した。

「長官閣下、長官のために乾杯を提議するに先だち、私が慣例による葡萄酒を飲まないで何故レモン水を飲んでゐるかを説明したいと思ひます。私は末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であります。毎日曜日の朝、私は若い人々のクラスを教えて居りますが、葡萄酒、強き飲料、茶、コーヒー、およびタバコを飲まないことは私共の教義の一つでありまして、私が、人を酔わせるアルコール性飲料を飲んでゐるのではないと言つてから、そうした飲物を用ゐることは矛盾であります。従つて、この際私がレモン水を飲んでゐるわけを御了解ねがいたいと存じます。さて、私はここにタヒチ島の長官閣下の健康と幸福をねがつて乾杯せられんことを提議いたします。」

この時、長官が乾杯の辞に応じて起ち上つたとき船の乗員の間に一種緊張した沈黙があつた。しかし、この長官は本當の紳士であつたから、今歓迎の言葉を述べた男の忠誠と男らしさを正しく認めて言つた。

「ヴァイオ船長、私はこの歓迎をして下さつたことに對

しあなたとあなたの同僚の方々には厚く感謝をし、また、あなたが禁酒に關するあなたの教会の理想を固く守つておられることを知つて喜ばしく思う。私は長官の船を預るこのように立派な人格の人々がもつと居たらよいと思つてゐる」と。千九百二十一年のあの夜、私たちがラロトンガに向けて航海してゐるとき、私は教会員の中でどれほど多くの人々がヴァイオ船長のように福音の理想と教えに忠実であつたであらうかと感嘆のうちにいぶかつたのであつた。すると救い主の御言葉が私の胸に浮んだ「われに向いて主よ主よという者、ことごとくは天国に入らず、ただ天にいますわが父の御意を行ふ者のみ之に入るべし」と（マタイ伝七〇二十一）。

救い主の時代に於いて、予言者ジョセフ・スミスの時代に於いて、船長ヴァイオの時代に於いて或いは現代に於いて、いつも同じように教会の会員たるものは、教会の会員として生くべき通りに生きるという一事を實行しなくてはならない。

ヴァイオ船長はすでに永遠の報いを受けるためにこの世を去つてしまつてゐる。おそらくヴァイオ船長は、私がかれまでにいく度もこの出来事を教会の若い人々に話したから、この人々が各自の義務を行ふやうこの話によつて励まされたことがあるのをよく知つてゐるであらう。ヴァイオ船長は自分が正しいと知つてゐることを実行する勇氣と忠誠とを有つてゐた。



性的罪悪は

殺人罪に次ぐ大罪

ポール・C・アンドラス

異性関係に関する神の律法に従わない人々は末日聖徒イエス・キリスト教会の中に居るべき場所がありません。而して神の律法は何でありますか。それは男女何れであつても、自分が合法的に正しい手続きを経て結婚している相手以外と性的交渉をもつてはならないということであります。これは率直な言葉でありますが、この律法が重要であるので率直な言葉を使わざるを得ないのであります。またどんな事情があつてもこの律法には例外がないことを一人のこらずの人が解つていなくてはなりません。これは昔から私共の教会の教えであつて、今も私共の教会が教えているところであり、また将来も常に私共の教会が教えて行くにちがひありません。

この教えがありまた私共の教会の中ではこの教えを強調していますので、私共の教会内部の性道徳の標準は非常に高く恐らく如何なる他の教会、組織または全地の上にある社会に於けるよりも高度なものであります。それにもかかわらず、その割合は少いとは言え、この律法を破っている可なりの数の人々があります。年が若くてまだ結婚していない人々がこの律法に背いて居り、すでに結婚している人々や永年結婚している人々がこの律法に背いて居ります。また金持ちも貧乏人も、教育のある人もさほど教育のない人も、不活潑な教会員も活潑な教会員もこの律法に背いて居ります。しかし、これら律法に背いた結果は非常に悲惨でありますから、これらの違反

を防ぐためにあらゆる方法を尽さなければならぬのでこの問題に就いて筆をとろうと決心をしたわけでありませぬ。

私共の教会は身心の健全なすべての人々にとって結婚は尊ぶべき正しいものであると信じて居ります。しかし、それ以上に私共の教会は神が自ら制めたもうた神聖な関係であるとして結婚を高く考へ、福音の中にある最大の祝福は正しい権能をもつ者によって今も永世にも亘って結婚した人々だけ受け取ることができると強く言つて居ります。末日聖徒の教義に於て、神御自身は結婚当事者である男および女と共に結婚契約に与る協同者であります。このような結婚によつて生れる子供たちは死を越えた彼方にも及ぶ権能によつて両親に結び固められます。この世の生活に於ける最大の喜びは家族関係の中で経験されるものであり、これらの喜びもまた墓を越えた彼方に及んで永遠に続くのであります。神はこのような家族の中にある性的の罪惡を黙認したもうことができない、また実際に黙認したまわれない。性的の罪惡は結婚と家族の制度に対する敵であります。性的の罪惡は家族がそこなわれまたは破壊さえもされぬために、また罪のある者もその生活がほとんど言語に絶する悲しみと苦痛に満されぬために致命的な敵と認めなければなりません。

青年やまだ結婚していない人々よ、よく聞いて下さい。あなたたちの貞操は生命より尊いものであります。私通は殺人に次ぐ罪惡であり、不行跡は決して幸福ではありませんでした。以上は若い男の人々もまた若い婦人たちにも等しく適用されます。結婚する前に若い男たちが性的に乱雑であつてもよいという古くなつた考えは間違

いであり悪い考えであるから完全に捨ててはなりません。どの若い婦人でも純潔で結婚をすることが大切であると同じように、どの若い男でも純潔で結婚をすることが全く大切であります。どのような人であろうとも、言葉または行為によつて、貞操を失わせる方向へあなたを動かそうとする人を避けなさい。またどのように多くの他人が（あなたの友だちさえも）あなたを誘惑に引き入れるような活動に加わつていようとも、このような活動に加わることを避けなさい。貞操、言葉を換えて言えば性的純潔は他の方法で得ることのできない固い結婚の基になるものであるから、あなたは貞操を失わないことに対して一生涯本当に良い報いを得るにちがひありません。

すでに結婚している人々よ、あなたたちもよく聞いて下さい。あなたたちの貞操は生命より尊いものであります。姦淫は殺人に次ぐ罪惡であり不行跡は決して幸福ではありませんでした。末日聖徒の結婚に対する考えの中には、あなたの配偶者以外の者と関係を結ぶということは全然余地がありません。末日聖徒の教義の中に「夫婦は互いに結び合いて他の者に愛着することなかれ」（教義と聖約四十二〇二十二）と教えてあります。夫婦の何れかが自分たちの結婚のためにならない交際を第三者と結ぼうと考えることさえも許す余地はありません。末日聖徒である夫および末日聖徒である妻は、どんな人であろうとも、また非教会員の中でどんなに普通に行われていようとも、誘惑をもつてくるかも知れぬような人または活動を細心を以て避けなくてはなりません。お互いにつづけて持っている信

頼と完全な相互の忠誠が結婚に与えている安定度はこれに代るもの
がありません。

何人も以上の言葉を軽視すべきではありません。性的の罪は、人々
を教会活動から叩き出し、光明と救いから暗黒と破滅へ導くときに
サタンが使う最も有効な道具の一つであります。私が伝道部長とし
て働いている間に、この北部極東伝道部の中で私が知りました悲惨
な事件の数は、サタンが如何にうまくこの陰險な道具を使っている
かを十二分に強く感じさせました。もしもあなたたち一人のこらず
が私の席について、これらの胸を引き裂くような罪とがの説明と罪
のある者だけでなく罪のない者にもその結果として及ぼす苦痛のこ
とを聞き入るならば、この問題に就いて一般に会員がずっとしっか
りした態度をとることであろうと確信致します。

当教会の宣教師たちは、彼らの貞操を失わないで首尾よく維持す
るために次の規則を注意して守るように指令を受けています。

- 一、同僚宣教師と離れるな。
- 二、異性の人をその名前(姓名の中の名の方)で呼んではならない。
- 三、握手をする時以外、決して異性の人に触れてはならない——握
手をする時もほんの短い握手に止めよ。
- 四、異性の人と決して単独で一室に居てはならない。

私は会員の一人一人が以上の規則を注意深く考慮することをお勧
めします。多分これらは宣教師でない方々に必らずしもあてはまら
ないが、同時に多分一般教会員にとって貴重な指針として役に立つ
ことでしょう。これらの規則をよく考えてあなた自身の基準をしっ

かりと決めて下さい。

さて、すでに性に關する律法を破っている人々はどうですか。主
は罪を見ていささかもこれを許すを得ずということを明らかにした
もうたが、また悔改めをする者は赦されんと仰せになっていきます
(教義と聖約一〇三十一—三十三)。

従つて、すでに律法を破った人々は直ちに悔改めをして教会の忠
実な活潑な会員になるべきであります。この点に就いては、正しい
権能をもっている人に告白をすることが悔改めの中で絶対に必要な
部分であることを忘れてはならないのであります(教義と聖約五十
八〇四十三)。合法的でない性的交渉のあった場合、教会の正しい
権能をもっている人に律法を破ったことを告白しなければ悔改めは
あり得ないのであります。しかしながら、このことをこれまで氣付
いていない人々もありますからここに強調をする次第であります。
主は、この律法を破った人々が悔改めをしなければ破門されなくて
はならないとはつきり仰せになりました。また真実悔改めをする者
は赦さるべしとも仰せになっています(教義と聖約四十二〇二十三
—二十六)。悔改めよ、然らざれば破門さる、とは主の御言葉であ
ります。従つて為すべきことは神の恵みを信じて悔改めをし、以後
正しく主に仕えることであるのは明らかであります。

教会の会員一人一人が異性關係に就いての神の律法に従わねばな
らぬことが如何に重要であるかを常に氣付いて居ますように祈り奉
ります。また、会員の一人一人がその貞操を常に保持するように、
すでに律法を破った人々は速に悔改めをするように祈り奉ります。

「再降臨」

佐藤龍猪

ガリラヤの人々よ何ゆえ天を仰ぎて立つか。汝らを離れて天に挙げられたまひしこのイエスは、汝らが天に昇り行くを見たるその如く復来りたまわん。

(使徒行伝一〇十一)

一、「イエスの予言」

再臨に関するイエスの予言。イエスがオリブの山に坐して居りたまうた時に、弟子たちがひそかに御許に来て、「われらに告げたまえ。この宮とユダヤ人の滅亡とに就きて汝の言いたまひしこれらの事は何時あるか。また汝の来りたもうと、世の終り、すなわち世の終りなる悲しき者の滅亡とには何の前兆あるか」と尋ねた(高価なる真珠、ジョセフ・スミスの著、六十七頁)。するとイエスはこれに答えてイエスの再臨に先立つ「時のしるし」をくわしく挙げて告げたもうた(高価なる真珠、ジョセフ・スミスの著、六十七―七十一頁、マタイ伝二

十四〇五―三十)。そして、その中で親しく「その時」「人の子」のしるし天に現われるべし。その時地上の諸族みな嘆き、かつ能力と大いなる栄光とをもて天の雲に乗り来る「人の子」を見ん」と仰せになった。

二、「時のしるし」

再臨に先立つ「時のしるし」としてイエスが親しく弟子たちに挙げて告げたもうた救々は、偽キリスト偽予言者が現われること、不法が多くなること、多くの人の愛が冷やかになること、聖徒らが患難を受けること、予言者ダニエルの言った「荒らす憎むべき者の出現」、選民の集合、戦争、飢饉、疫病、地震のあること、福音が全世界

に宣べ伝えられること等であった。これらの「時のしるし」はこれから先世に現われることであるか、それともすでに現われているであらうか。

(i) キリストは世の悪が熟する時に来りたまう。キリストは「されどノアの時にありし如く『人の子』の来る時にもまた然あるべし。洪水の前の時にありし如く、彼らにも然あるべし。ノアの箱舟に入る日までは、人々飲み食い、めとり嫁ぎなどし、洪水の来りて彼らをことごとく取り去るまでは知らざりければなり。『人の子』の来るも然あるべし」と仰せになった(高価なる真珠、ジョセフ・スミスの著七十頁)。キリストは世の中の有様がノアの大洪水の時代そのまま(創世記六〇五)になると間もなく再び来ると約束したもうた。主なる神はノアの大洪水の後に「地を滅ぼす洪水再びあらざるべし」(創世記九〇十一)と契約を立てたもうたが、今度は剣と火とを以て地を潔めると約束したもうた(教義と聖約六十三〇三十二―三十四)。主は世の人々が悔い改めて義しくなった時に来りたまうのではない、世に悪が熟する時に来りたまうのである(「救いの教義」第三卷三頁)。

(ii) キリストは「またこの王国の福音はすべ

ての国民に証をなさんため全世界に宣べ伝えられん。而して終りすなわち悪しき者の滅亡に至るべし」(高価なる真珠、ジョセフ・スミスの著六十九頁)と明白に「しるし」を述べたもうた。主は地を邪悪から潔めて悪人に応報を与え義の統治を始めるに当って、必らず予め主の前に道を備えるべき使者を遣わして御業を始めたもう。大洪水を警告するためにノアが遣わされた。イスラエル人を約束の地に導き、主がアブラハムに立てたもうた契約を成就するためにモーセが遣わされた。「主の道を備え、その道すじを直くする」ためにバプテスマのヨハネが遣わされた。またイスラエルがとられ散乱する前に予言者イザヤが遣わされた。民はこれらの使者の言に耳を傾けてその言に従い来るべき禍から逃れる道があったはずである。主の御言葉に「人の子の来るや、その天使たちを大いなるラツパの音と共に彼に先立ちて遣わし、天使たちは天のこの極よりかの極まで四方より選民の遣れる者を寄せ集めん」(高価なる真珠、ジョセフ・スミスの著七十頁)とあるが、今や王国の福音はキリストの再臨に先立つて世の人に告げる証詞として世界に宣べ伝

えられ、選民はシオンの地へ集っている。この王国の福音はすなわち回復された真の福音であつて、これまで宣べ伝えられてきた世の常のキリストの教えではない。これによつて世の人は再臨の時代が迫っていることを知るのである(「救いの教義」第三卷、五頁)。

(イ)現代は人類の歴史中で驚嘆すべき発明発見が続いて起り学問が驚ろくべき発達を遂げている時代であるが、中には人をまどわす偽りの説もあつて多くの人々がこれにまどわされている。これらはすなわちダニエル書十二〇四、テサロニケ後書二〇七一―二、テモテ後書二〇十六、三〇一―七にすでに誌してある「時のしるし」にほかならない。現在人類の中に悩みがあると様々に諸々の元素の中にも悩みがある。飢饉、疫病、地震、天雷、また目を射るときさまじきいなづま(教義と聖約八十七〇六)および烟霧等は「柔い葉の出たいちぢくの木」と同じく人類に警告を発している(教義と聖約四十五〇三十七―四十一)。また啓示の言葉に「われ自らの声、雷の声、いなづまの声、暴風雨の声、地震と雹の声、飢饉とあらゆる疫病の声、ラツパの大いな

る響、審判の声……などの声によりて呼び、汝らを永遠の救いを以て救わんとしたる」と幾度ぞや。然も汝らは好まざりき」(教義と聖約四十三〇二十五)と誌してあるが、世の人の心が盲目になることが末日の著しい「しるし」である。彼らは目あれども見えず、耳あれども聞えず、心に悟るところがなく(イザヤ六〇九)。かくて人々の愛は冷やかになり、世の中の状態はますます悪くなつてついに最後の戦争が起る。

三、「最後の戦争」

千八百三十二年十二月二十五日、主は予言者ジョセフ・スミスに啓示を賜うて「そは間もなく南カロイナの叛乱に始まり、ついに多くの人々の死と苦悩とに終るものにして、戦争はこの地に始まりてついにすべての国民の上に押し寄する時来らん。見よ、南の諸州は北の諸州に反して分裂し、而して南の諸州は他の諸国民、すなわち大英国の国民を呼び、こはまた他の国民より自らを防衛せんがために更にまた他の国民を呼び、かくしてそれよりすべての国民の上に戦争押し寄するべし。……ついに神の命じたまいたる滅亡はすべての国々の最後とならん」(教義と聖約

八十七〇一六」と仰せになった。この予言の前半はアメリカ南北戦争の勃発によって完全に成就したが、後半は今や正に成就されんとしている。世の人々は平和を叫んでいるが、人類が悔改めようとしないうちに人の心に憎悪と猜疑とがあつて戦争を避けることができない。「われ怒りて誓をなし地の面に戦あれと命じたれば、悪しき者は悪しき者を殺し、あらゆる人々恐怖におそわれん」とは主の御言葉である（教義と聖約六十三〇三十三）。

エゼキエル書第三十八章と三十九章とはキリストの再臨の前になる大戦争、ハルマケドン（またはアルマゲドン）の戦に就てくわしく誌してある。エゼキエルとダニエルはキリストの再臨を前にして起る大戦争はエルサレムの包圍を以て終りを告げると言っている。またヨエル書には「万国の民を集めこれを携えてヨシャパテの谷に下りかしこにてわが民わがゆずりの産なるイストラエルのために彼らをさばかん」（ヨエル書三〇一一二）、「国々の民よ起ちて上りヨシャパテの谷に至れ、かしこにてわれ座を占めてまわりの国々の民をことごとくさばかん。……かまびすしきかな無数の

民さばきの谷にありてかまびすし……」（ヨエル書三〇十二―十四）とあつて、諸国の軍隊がパレスチナに集つたときに主が審判のために来りたもうことを告げている。

四、「再臨の日はいつか」

ゼカリヤの予言によれば（ゼカリヤ書第十一、十二、十三章）「諸国の民が攻め来つてエルサレムを取り囲み、都の一部は敵の手に落ちて住民は非常な苦しみに逢う。また大きな地震が起つてオリブの山が真中から西東に裂け大きな谷ができる。正にその時主は民を救う者として来りたまひ、その両手両足を民に示したもう。民これに向つてその傷は何所に於て受けたまいしやと聞いたてまつるに、主は答えてのたもう、こはわが愛する者の家にて受けし傷なり」と。かくの如く主は最後の戦争の最中に来りたもう。主の来りたもう日の前に起る異象に就ては予言者ジョセフ・スミスに賜わつた啓示、教義と聖約の第二十九章、四十五章および百三十三章に詳しく載っている。

「主の日来る前、日輪は暗くなり、月は

血と変り、諸々の星は天より落つるべし。……見よ、われ来らん。而して彼ら、われ能力と大いなる栄光の衣を着けて天の雲に乗り、すべての聖き天使らと共に来るを見ん」（教義と聖約四十五〇四十二、四十四）。

キリストの再臨はいつの日起るか。教義と聖約第四十九章七節には「われ主なる神、このことを語り。されど、その日その時はこれを知る人絶えてなし。天の使たちも、彼に来る時までこれを知ることなかるべし」とあり、また「されど、その日その時を知る者なし。天にある神の使たちも知らず。ただわが父のみ知りたもう」（高価なる真珠、ジョセフ・スミスの著七十頁）とある。しかし、千八百三十六年、古代の予言者の一人エライジヤはジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリに現われて権能を授けし「これによりて汝らは、主の大いなるおそるべき日のすでに近づきて正に門口にあるを知るを得ん」と言った。（教義と聖約百十〇十六）、われわれはすでに啓示された「時のしるし」が数多く実際に現われていることを知っている。

この故に汝らも備え居れ、人の子は思わぬ時に来ればなり。

（マタイ伝二十四〇四十四）

極東に於けるモルモン

私の改宗



柳 沢 俊 雄

(札幌支部第一副支部長)

て東京の学校に行くことになった。上京してからは東京見物やら、学校の勉強が忙しくて聖書をひもとくことがなかった。

冬休みに帰省して、友達を前に東京見聞録をして歩いたがその中で一人の友達の行動に興味をいだいた。学生時代よく行った喫茶店でその友人と語りあったが、例によってコーヒーを飲もうとウエトレスに注文した。友人はすかさず「コーヒーは飲みませんのでミルクにして下さい」と言った。私は奇異に感じ、その理由を尋ねると、「知恵の言葉」を説明してくれた。私は失礼な質問だと思ったけれど「貴方はそれを全部守ることが出来ますか」と聞いた。私には「信仰がありますから」との答であった。

帰京してからの私は何時も「信仰」という言葉が耳から離れなかった。意あまつて当時の次のような文をしたためている「……かつては、貴方にキリストに対する信仰をすゝめながら、自分では今なお、理解出来ない部分が多々あるとはどうしたことだろう。不勉強だったからかも知れない。しかし今からなお一層研究してみたいと思うので、貴方の教会の根本的な考え方を教えていたゞきたい。説明が難しいようでしたら、貴方の属している教会

日本人の大部分の家庭がそうであるように私の育った家も仏教徒である。

小さい時から仏壇に手を合せてから朝食をとるのが習慣であった。また神棚もあったが村の鎮守祭かお正月以外は特別にお参りしなかった。中学卒業後は故郷を離れて生活したので家族と同じ宗教的雰囲気ですすことがなくなった。そのかわり読書したり自分自身をみつめたり反省する時間が家族と共に生活した時より多く持つことが出来るようになった。田舎出身の私でも色々な友達が出来、私の

生活の中に入ってきた。あるときは泣いたり、笑ったり、議論したりしみじみと語りあったりした。それらの中で自分の青春を決定的にしたものは、キリストに対する信仰の「めばえ」であった。

内村鑑三の「余はいかにしてキリスト信徒となりしか」を読みキリストに対する万福の信頼を感じとった。「余は日本の為、日本は世界の為、世界はキリストの為、キリストは神の為なり。」読書後早速あるキリスト教会を訪問して聖書を勉強した。わからないところが沢山あったが、すっかり感激して、その後、その友達に聖書ほどすばらしい文学書はないと、ぜひ読むようにすゝめたものがある。ところが学業中途(聖書の勉強)にし

で東京にある場所を知らせて戴きたい。私自身行つて教えを請いたいと思う……」。

現在の東京中央支部を訪問したのがそれから数日後であった。古い建物で、およそ想像していた教会とは違っていた。そこでケカウオハ長老よりジョセフ・スミスのこと等教わったが、聞くことすべて新しいことばかりなのでさっぱり理解することが出来なかつた。

しかしその熱心さには、心より感動した。それから毎日のように家庭集会で勉強し、日曜学校等にも出席した。どうやら理解しはじめたときに学校を卒業して札幌に來た。札幌では、宣教師の和田、今井、野田の三姉妹から本当に親切に教えて戴き、聖書、モルモン經を読破、一九五六年三月三日、キリストの贖罪により福音のおきてと儀式を守ることにより救われ得るといふ強い確信をもつて、北海道地方部長エニス長老より、罪の赦しを受くるために水に沈めらるゝバプテスマの儀式を受けた。爾來今日まで聖靈の導きにより生活して來たが、その間恵まれて、私をこの教会に導いてくれた人と家庭を作り、一子を得、モルモン家庭として平安な日々を過して居る。

子供には眞理と命名した。それは、むかしヒラマンがその子に、ニーフアイ、リーハイ

の名を与え、自らの名前を思うたびに先祖の行跡を知らしめんがためであつたが、私達も子供に父母の常に求めし眞理を自らの名前を思うたびに思わせ、永遠の宝を自らのために天に貯えるように願つた故である。また王国の教義をよく理解し隣人を警める責任を果す

私の改宗



私は広島市から約八十キロ離れた中国山脈の分水嶺にあたる田舎に生まれました。父母は熱心な仏教信者でありました。小さい時から父母に連れられてお寺に参りました。また自分の家も時々開放して三日も五日も続けて有名な坊さんの説教所にあてられました。

そんな様子でしたから小さい時から人は肉体が死んでも靈魂は不滅であることはよく知

よう祈るものである。

袖は眞に生きていきまし、イエス・キリストは私達の救い主であり、この末日聖徒イエス・キリスト教会は、予言者ジョセフ・スミスによつて回復された神の認める唯一の教会であることを心より証する。

吉宗つたの

(群馬支部)

つて居りました。そして私が七才の時に長兄が此世を去りました。その長兄は私を大へん可愛がつていてくれたので非常に悲しみました。それ以來人生の無常を感じ未来に対して一層深く関心を持ちました。小学校を修了してから広島市の中学校へ進学いたしました。その学校は正課として英語がありませんでしたから英国婦人のお宅へ英語を習いに行きました。そこでは日本婦人でもまことにやさしい気高い方が英語の手ほどきをして下さいました。その英語を学ぶ時必ず新約聖書を教えて

頂きましたので「キリスト」についてはじめて知る事が出来ました。私は熱心に新約聖書を読みました。そしてキリストの教えの偉大なること、正しい教えであること、父なる神の愛の大なる事を知りました。私はその後ますます熱心に聖書を読み、仏教を信ずべきかキリスト教を信ずべきか苦しみました。父母が仏教を信じているので此世を去って父母と別れる事を悲しんだわけでありました。けれども釈迦は肉体を残して死んで行きましたが、キリストは死んでもまた甦り肉体を残さなかった。今もキリストは生きていることに気づき、私はキリストに従って行かなくてはならないことを決心いたしました。

その後成長するに及び田舎ではキリストを信じている人もなく、教会もなく結婚問題も起ってまいりましたので田舎にいる事は不利でありましたから東京へ出てまいりました。しばらくの間東京の小学校に勤務いたしました。が、独立して自由にキリスト教を信じ伝道して行きたいと思つて歯科医を志し、歯科の学校へ入りました。九人兄弟姉妹の七番目であり父母も年をとつて居りましたからいつまでも視に学資を送つて頂くのも申訳けないと思つて自分で和裁をして自活しつゝ勉強して資

格をとりました。その後父母のすゝめに従つて郷里に帰つて開業するつもりで広島市に行き、家屋や土地を見つけましたが適当なのが見つからないので東京へ引きかえました。おかげで戦争中広島島の原爆から遁れる事が出来ました。それから関東大震災の時はやつと開業した時だったのですがどうも思わしくないので雑作を売つて市外に移転いたしました。

そして一月もたないうちに大震災でその家もあたり一帯焼野ヶ原となり神様が私を導いていて下さつた事を知つて感謝いたしました。

父の病氣の時も母の病氣の時も危篤の電報を受取つてから急ぎ帰郷看護につとめ二回とも全く奇蹟の様に癒され父母によるこぼれました。私がキリスト教を信ずるということも父母親族の人達に発表した時には父と義兄は先祖の宗教を捨てヤソ教になるといつていたく怒り勘当申しつけるとまで申し、私は独立の道をたどつてきた様な次第でありましたけれど、父母が世を去る前に私がキリスト教をすすめるのに対して永い間仏教を信じて安心立命を得ているので仏教を捨てる事は出来ないうがキリストの教えは正しいという様になりました。その後父も母も世を去りましたからこの教会に死人に対するパフテスマのあるこ

とは何と嬉しい事ではないでしょうか。

プロテスタントの教会では救世軍が一番よい様に思つて昭和二年以来救世軍に属して居りました。或時はあまり小隊に行き家にならなかつたので患者が来なくなり生活にまで困る様になりましたが、私は「神の国と神の義を求めよ然らば凡てこれ等の物は汝に加えらるべし」とある主の御言葉を信じすべてを神様におゆだねいたしました。それが、それ以来衣食住に困難したことは御座いませんでした。

一九五四年春只今東京中央支部の今井一男支部長が高崎支部で宣教師をしておいでになつた時米人の宣教師の方とお二人で私の宅の玄関に訪問して来られました。その時お宅ではキリストを信じていらつしゃいますかと尋ねられ「はい、キリストを信じて居ります」と申上げると神様はどんな方を思いますかと問われ、私が「神は霊なれば霊と真とを以て拝すべきなりとありますから霊の方だと思ひます」と申上げると、でも創世紀には人は神の形に似せて造られたとありますし使徒行伝にはステパノは死ぬ前に神の右に御子の立ちましたのを見たところではありませんかと申されました。永い間聖書を読み乍ら自分のほんやりしていたのがっかりいたしました。それ

家譜と族譜

黎 天 枢

(深水埗第二支部)

一九五九年二月一日に私は系図の集會に参加して深く主の慈愛を感じ、また末日聖徒イエス・キリスト教会の偉大さを痛感致しました。本教会は神の教會でありますので兄弟姉妹お互い自身の救いもたらされるだけでなく、お互いの先祖たちの救いも身代りによってもたらされるのであります。これは何たる光榮でありましょうか。私たち中国人は爾來、すべて伝統的家族觀念を保つて來ました。いわゆる「木本水源」(物の根源を云う)「慎終追遠」の思想は變ることなく伝わり、一旦「樹欲静而風不息、子欲養而親不在」と言うことに遭遇すると終日過去を恨みなげかざるを得ないでしょう。現在私たちの教會にはすでに身代りにする先祖の救いの仕事があり、私たちが精神上、負わねばならない罪を贖い、

私たちが生涯を通じ如何ともしがたいと、遺憾に思っていた事を補足してくれるのであります。私は兄弟姉妹の皆様が喜んで系図の仕事に参加されるであろうことを確信致して居ります。

私たちの教會の系図の仕事の最初は中国伝統の族譜の仕事と類似して居ります。その相違するところは、只系図に於ては會員諸君の父母から始まり更に祖父母へと先祖を遡って行くのでありますのに反し族譜の仕事は元祖から始まって代々次代を追って降って來るのであります。一方は下から上に遡るに反し他方は上から下に降るのであります。その根本精神と演繹方法は完全に符合して居ります。

私は十五才の時に族譜を編纂する仕事を致しました。私の父がまだ年若くして「優貢」

から、今から百三十年ばかり前ジョセフ・スミスは神とキリストを見た事を話して下さいました。そして教會はキリスト様の時代と同じに回復されて予言者十二使徒祝福師など全部ありますと申されました。私はかねて主の御再臨の近き事を信じて居りましたから何処かに予言者が現われて旧約時代イスラエルを導いた様に導く人は出て來ないのかしらと心の底に感じて居りましたので、実に驚き喜びに満ち更に疑は起りませんでした。実にすばらしき眞の教會のあることを知って大よろこびいたし、神様がいかに私を愛して下さるか、はかり知れない神の愛に感激して泣けて泣けてたまりませんでした。それから数回家庭集會をして頂きモルモン經典を読み教會の出版物を読みそのすばらしさにますます驚きました。すぐにもバブテスマを受けたかったですけれど、主人がなか／＼研究もしないので賛成してくれないのでとう／＼一年後一九五五年五月一日わが／＼東京からおい

(清時代の役人試験制度上の本官相当官名、現代の大学予科卒業に相当する)に合格していただきましたので、大いに全親族の信頼を受け、まだ一族の族譜が編纂されていなかったため、皆一致して私の父を編纂責任者に推したのであります。彼は資料を探索蒐集して九年間の才月を費して族譜を写し取りました。実存した人々の確実性を証明するために彼はかつて

広東省の新会県および南海県また江西省および河北省の各地に至り、その地の親族と共に親しく族譜を研鑽したのであります。これによって見ましても、族譜の編纂の仕事が如何に神聖且つ厳肅なものであるかがわかります。この族譜は完全に毛筆を以て写し取ったものであります。私の父は本族譜を完成した後、間もなくして仕事のため外地に出かけねばならなくなり分類謄写編纂する時間がなくなつたのであります。その後、私がまだ幼少ではありましたが毛筆で書くことが好きでありましたので父は編纂の責任を私に渡し同時に私がどのようにして過誤または漏失を見出すか新しい資料をどのようにに補足するかまた、どのようにに謄写に従事するかを指導され私は課外の時間を使って族譜の編纂に従事

し約半年の歳月を費してその全部を写し終えたのであります。このような仕事は、非常に精神を消耗しますが、その心の内に非常な楽しさを覚えるのであります。而るに惜しまらくは、この父子兩人が写し取った二冊の族譜は現在何処へ失つてしまったのか見当らないのであります。

最近に於て私は族譜の主な目的は歴代人物の言行を詳細に記録して後代の人々の模範となすことは消極的なものであつて、その主要な目的は先祖の戸籍を詳細に調べてもし先祖たちが没礼を受けていない時は代つて受け、先祖が罪から贖われて天国に入れるようにする積極的なものであることを深く体得したのであります。

これにより私はここに一つの証しを立てたいと思います。それは末日聖徒イエス・キリスト教会が神の教会であり末日聖徒イエス・キリスト教会の仕事が神の仕事であると云うことであります。

(南部極東伝道部機関誌「聖徒の声」二月号より。渡部正雄訳)

で下さった今井兄弟からバプテスマ並びに按手礼を施して頂きました。其時私の小さい娘、出も八才でバプテスマを受けさせて頂きました。思えばこの教会に来るまで実に四十数年もかゝつた永い旅であり、漸くほんとに大きい光を見出すことが出来、毎日を感謝に送らせて頂いて居ります。

実に主は生きたまい、祈りは必ず聞かれ、また恵みを教えあげるなら数限りありません。

この教会は回復せられたる真の教会でありジョセフ・スミスは予言者である事を心から証し申し上げます。



新 年 度

M I A プ ロ グ ラ ム

と

献 身 的 な 指 導 者

The Right Circles



Be Honest with Yourself

新年度のM・I・Aでは十二才から十八才までの男女は「ジュニア・Mメン」と「ジュニア・グリーナー」と呼ばれ「我等は奉仕する」というテキストを使用し、非常に興味あるレッスンが行われている。このジュニア・クラスの七月第二週には「宝さがし」という特別な霊的プログラムが行われ、ジュニア・クラスの会員たちによってさがしだされた数

人の招待者が特別に参加した。招待者をさがしたために、クラス・リーダーである女子M・I・A副会長からあらかじめ、天に宝を積んでいる人たちについてのヒントが示された。第一の人は家族をよく世話し、貧しい隣人をも助けるすばらしい模範的な母。第二は教会の奉仕に於て要求されている以上に献身している神権保持者。第三は濯油の儀式によ

っていやされた証詞の豊かにある家族。第四はモルモン経を読んで証詞を得、祈りを通じてその証詞を受けた改宗者。……等々。招待者には証詞する機会が与えられ、ジュニア・クラスは楽しい夕べの一時をもつ事が出来た。閉会に際してはクラス・リーダーから福音の証詞はねぶみ出来ない賜であること、また最高の栄えに進むことが出来る方法は、

福音の原則に従うことであるとの証詞がたてられ、最高の栄えは、私たちの宝の保存されている天の蔵であるとも強調された。

今年度から伝道部で採用されたM・I・Aのプログラムは右のようにその一つをとってみても実にすばらしいものであるが、単に新しいプログラムではない。これは教会のステーク部で使用されている全く同一のM・I・Aプログラムをいつか完全に本伝道部でも使用したいとする最初の試みであり、成長と進歩の第一歩を示しているのである。

マスター・Mメン賞、ゴールデン・グリーン賞は今までの本伝道部のみに行われていた個人賞に加えて今年度より受賞の機会が与えられる。資格を得るために最低三年はかかるこれらの賞は、本伝道部に伝道中の宣教師たちの中にも受賞者は数える程しかない。これらM・I・Aプログラムは長年の成長



中東幹夫



唐沢和子

と経験を通じて発達せしめられる永遠の産物である。十二才以上のすべての男女の霊的、精神的、道徳的、文化的及び社会的な発達を意図とするこれらのプログラムに、伝道部のすべての若い会員たちは活潑に参加するべきである。

さて、先にジュニア・クラスの「宝さがし」というプログラムを紹介したが、この中で第二は教会の奉仕に於て要求されている以上に献身している神権保持者をさがし出すことであった。この神権保持者の一人は東中央地方部M・I・A指導者中東幹夫兄弟であり神権保持者というところを女性の会員と変更出来るならば同じく地方部M・I・A指導者の唐沢和子姉妹を選ぶことが出来る。

二人の指導者は昨年の十月十二日の地方部大会で支持され、それ以来今日まで地方部内の支部を巡回してM・I・Aの指導にあたり

て来た。特に新しいプログラムの実地指導者として今も、また後も注目される役員たちである。この責任をよく理解する意味で、ステーク部M・I・A会長会の責任について紹介してみよう。

一、ワード部内の各M I Aを監督し、更に各M I Aが計画をよく理解して、それを完全に遂行するよう援助を与えること。

二、ステーク部の指導者会を指導し、靈感、補充教材、視覚教材等を与え、且つワード部のM I Aの進歩のために必要な援助を与えること。

三、ワード部M I Aの計画会、祈禱会、レッスン、活動のクラスを訪れて、必要な助言と勧告を与えること。ワード部M I Aの問題、ワード部M I A役員の問題を理解し、M I Aの組織を円滑に運営するためにあらゆる問題の解決に援助を与えること。

四、ステーク部の活動、及び出来事を計画し、指導すること。ステーク部とワード部との間に何ら支障がないように注意すること。

五、M I Aが真実の意味で神権者の補助組織となり得るよう、高等評議員会を通じ、ステーク部の神権者役員と密接に協力し合うこと。

六、書記に援助を与えてステーク部の完全な記録を保存させ、且つ毎月期日までに中央管理委員会までに完全な、正確な記録を送付すること。

七、重要な問題を解決するための方法、及び勧告、忠告を得るために中央管理委員会の役

員たちと密接に交わること。

ステーク部にM・I・A会長会は女子、男子合わせて六名あるが、この責任を中東兄弟と唐沢唐沢姉妹は二人によってなしているわけである。多忙をきわめる二人の指導者の行動を追ってみよう。

彼らは毎木曜日地方部内の支部M・I・Aの指導のため各支部を巡回する。支部長を通してM・I・Aを監督し、新しいM・I・Aプログラムをよく理解し、遂行するよう援助を与えている。時には必要な忠告を役員たちに与えもする。

金曜日は京浜地区のダンス教師養成会。中東兄弟の指導によって京浜地区のダンスは非常に向上した。

土曜日は一ヶ月一回行われる京浜地区のアクティビティか、地方部プログラムのために準備にいがしく働く。

日曜日は地方の支部の巡回に行くこともあるが、第三週は地方部補助組織指導者会のM・I・Aクラスの指導をする。新しいM・I・Aプログラムは実施に先だつ事数ヶ月前、すでにこの会によって予告と必要な助言が与えられていた。第四週は本部に於て開かれる支部長会指導協議会に出席、地方部プログラ

ムと支部のそれとかち合わぬよう打合せをする。

第三水曜日には伝道部M・I・A監督のノーマン長老、地方部長ヘンリー・高橋長老と会合をもち、重要な問題の解決にあたるのである。

彼らが最も力を入れるのは各支部合同のプログラムであるが、その五、六、七月に行われた京浜地区のアクティビティを次にのべてみよう。

五月二十三日、代々木卓球クラブで京浜地区ピンボン大会が開かれた。中央支部佐藤泰生兄弟の司会。六時三十分より七時まで練習七時より試合開始。当日のルールとして試合十分前に各支部チームの選手が司会者のもとに登録される。試合種目は男子単二、男子複一、混合一、女子単一の五種目によるチーム戦であり、五種目の人員不足の場合その種目は棄権として負、一種目二ゲームとし全種目終了後同点の場合男子複一ゲーム行う。結果は全種目参加によるチーム力と協力のもとに西支部がみごとトロフィーを勝ち取った。

六月四日、千駄ヶ谷、国立競技場内大会議室でダンス・パーティとダンス競技会が行われる。南支部 佐原正兄弟司会。二バンド出

演の本格的なパーティであり、競技会は各支部四カツプルの出場、ブルースとワルツを踊る。だぶって出場した場合は減点されるので、全員参加の東京中央と横浜支部によって優勝が争われる形になったが、やや練習に時間をかけた中央支部に分があり第一回の優勝をかざり、スマートなトロフィーを贈られた。

七月はバレー・ボール大会。四日六時より神田の国立体育会館に於て東京北支部、佐藤



ピンボン大会に優勝した東京西支部



東京中央支部ダンス・グループとトロフィー

襄治兄弟司会により行う。トーナメントにより、決勝は東京中央と東京南支部。小つぶながらよくチーム・ワークのとれた中央支部が渡辺南支部長の強烈なスウィフト・カットをよく受けてダンスにつき第二のトロフィーを獲得した。この会場では七、八年前にさかんにバスケット・ボール試合がよく行われたが当時はどの支部も借りもののチームでありM・I・Aスポーツ参加資格のない者までが加わっていたが、京浜地区も進歩したもので

会員によるチーム編成がどの支部にもなされていたのは喜ばしいことである。

さんねんなのはスポーツの場合参加者は選手のみで観戦者のいない事である。支部ぐるみ参加するのにもまた楽しいはずである。中東唐沢両指導者の計画するこれらの立派なプログラムに各支部とも、より活潑に参加しなければ両指導者に申し訳がたたないのではないだろうか。今年バスケット・ボール、ソフト・ボール、ダンス競技会もこれから行われるが、中東兄弟は、「今後も行われる地方部プログラムには各支部チーム力、会員協力、及び組織の力で参加する事が当教会のスポーツ・プログラムの真の意味であることを各人が自覚し奮起せられんことを望む」といわれている。

私たちは真のスポーツマン精神を理解し、会員間の親密さを増大させるこれらのM・I・Aプログラムに参加し霊的に肉体的に道徳的に且つ社会的に立派な成長をとげようではないか。

：
：
：
：
：

(一) (言) (集)

『主なる神』

忘れてはいけない。主なしに生きることは出来ぬということを。何人の人が主なしに生きようと試み、何人の人が失敗したかを。

(マーク・E・ピータスン)

『只一つの力』

天の父なる神に近く生きる者は、神の霊を受けるだろう。われ／＼に枕う悪霊から身を守る唯一の力は、主の御霊である。

(ソープ・B・アイザックソン)

『喜ばしき音信を』

われわれはいつも人々に宣べ伝えなければならぬ。福音、即ち大きな喜びの音信は、全人類の真の導きであり男も女も、この教えに従って生きる者はすべて最大の喜びと、心の満足とを得られるということ。

デビッド・オー・マッケイン

丁重な物腰で辻説法

—地方紙に紹介された宣教師たち—

其の一 北海道新聞

(六月二十六日)

「あの人はどんな人」という特別記事の第三回に「丁重な物腰で辻説法」青い目の伝道師として札幌支部の宣教師が北海道新聞に紹介された。

「白いパナマ帽をかぶった若いアメリカ人—それも大てい二人連の姿をこのごろよく都心部の街角でみかける。ビル街の舗道、デパートの玄関、公園の散策……往來の激しいところでは必ずといってよいほどいつもよくみかける顔だ。外人観光客の派手な装いもないし、身なりはむしろ質素すぎるといえる背広姿。

この複数のアメリカ人が巧みな日本語を使い、丁重な物腰ですれ違う市民にささやきかける。「アナタは信仰について関心をお持ちですか……」ときには「いまおヒマでしたら二十分間アナタとお話してみたいと思います……」と手には小さな

パンフレット、チラシを持って熱心な街角の伝道ぶり。それはちょうどアメリカ版、青い眼の辻説法といったポーズ」宣教師たちが自費自弁で伝道していること。年齢の若さに似合わず長老という称号を持っていること。英会話やM・I・Aのことを会費無料の音楽、演劇ダンスの講習会として紹介、彼らがメシにみそ汁の日本の生活にわけこんでいること。簡単にモルモン教会についての説明までついてまづく良心的な取り上げかたをしている。

「ワタクシたちの伝道は短い間にかなり成果をあげています。いまでは百五、六十人の若い市民が信徒になっています」とインタビ



北海道新聞

ユーで答えたテリー長老は「多少はくずれが、テリオハの使い方もまずまず」とほめられすかさず札幌のことを「故郷のユタ州に氣候、風土がびたり似ているので札幌はとても住みよいところ……」とほめかえしているあたりなかなかやり手である。

この記事のおかげで求道者が獲得出来たとテリー長老から知らされて来ている。

其二 旭川ジャーナル

(五月二十五日)

ある宣教師の生活」と題して半頁をさいの好意的な紹介記事。「すでに生活に融けこんだ宗教という一種の安心感をさへ与えるようだ」と印象をのべている。

「毎朝起床は五時半、六時から七時半までは教会についての勉強、七時半に食事。朝食はアメリカにいるときから続けている麦食である。八時から十時までは日本語の勉強。十時から伝道に出かける。街頭でのパンフレット配布と家庭訪問である。

ある日教会にいつも来ている婦人の家を訪問したところ、夫が常日ごろから、それをきかされていく、早産者で首を打った、産後……

の時はバスホートを忘れて行った時だったので、警察署へ連れて行かれた。また、酔っぱらいのなぐり合いに仲裁に入り、英語でタンカを切ったら逃げて行ったこともあるという。しかし「総じて日本人は親切でおとなしい」

そうだ。この伝道の時間は午後三時までの約五時間だが、昨年はこの時間を延長して農家の稲刈りの手伝いに行

ったこともある。三時から訪してくれた人たちと、ひとり二十分くらいずつ教会についてのお話をする。八時半から九時半までは自分たちの時間で、この間には銭湯にも出かけるが銭湯の熱いのは閉口するようだ。

ここでも自費伝道は記者の目に奇異にうつるらしくリッシマン長老を引見し、お母さん……

……

旭川ジャーナル

ある宣教師の生活





新興宗教モルモン教二青年

生活費は自まかない、三年間で日本をひと回り





明るく健康的な生活

旭川ジャーナル

されているとまで書かれている。教会のアウトラインまでのせていところはよいが、世界で最も古い真のイエス・キリスト教会も旭川ジャーナルには「新興宗教モルモン教」となっているからおそれ入ったものである。

神殿献堂式祈禱

ソルトレーク神殿 (五)

ウイルフード・ウッドラフ

お、神よ、我々は汝が大いなるアメリカ政府の基礎を置くべく愛国者たちを起したまえるを感謝す。汝は彼らを靈感して、全国民に彼らが自身の良心の命ずるところに従いて汝を礼拝する同等の権利と特権を保証する善き憲法と法律を制定せしめたり。司法および行政両部門の公務員たちを祝福したまえ、大統領、彼の内閣及び国会に豊かな恩寵を授けたまわんことを、彼らが汝のみたまにより照らされ、導かれて人間の自由の栄えある原則を掲げ維持することが出来るように、汝が我々に対する親心からこの国の民、市民の我々に対する心を和らげたることを我々は天の父なる汝に深く感謝す。汝がなせる業は我々の眼に誠に奇しきものなり。

我々は、汝がわが国民の大統領の心を動かして大赦令を發出せしめたるを感謝す。汝は

多くの民の心から彼等の我々に関するまた我々の目的に関する偏見と誤解を取除きたれば彼らはもはや我々を敵視せず友として取扱ひたり。故に我々はこの聖なる家にて汝を崇め

汝に栄光を帰し、へり下りてこの氣持を彼等の心の内にも増し加えたまわんことを汝に乞ひ奉る。彼らをして我々の真の姿を見ることを得しめたまえ、我々が彼らの友なるを、彼らに示したまえ、また我々が自由を愛し彼らと共に人民の権利及び我が国の憲法並びに法律を擁護するものなることを、彼らに示したまえ、而して我々および我々の子孫が常に忠実でありこの大いなる共和国内の憲法上の権利及びすべての自由を維持するために全力を尽くすようその心を強化したまえ。

お、主よ、深き慈愛の内に王たちや王子たち、貴族、統治者、為政者および地上の大いなる人々を憶えたまえ、また同様にすべての貧しき者、苦しむ者、圧迫されたる者、誠にすべての民を憶えたまい、汝の僕たちが汝の名をたずさえて彼らの前に行く時に彼らの偏

見は真理の前に消散して汝の民が彼らに受け入れらるゝものとなるようなさしめたまえ、義と真理が支配するように道が備えらるるよう国民の事項を管理したまえ、我々は自由が全地に広がり圧制が息み、暴君のくびきが打砕かるを見ることを望む、また我々は汝の民を退歩させ荒廃させ、汝が彼らの生存権のために造りし地上の祝福の彼らの分け前を享受することを阻止したるすべての専制政治が顛覆追放さるるを見ることを望む。

お、永遠の父なる神よ。汝はすべての事を知り、汝は汝の民が政治的に導かれ来る道程を見来れり。

多くの場合彼らは二大政党に参加せり。選挙運動が展開され、選挙が挙行され、多くの党派的感情を生ずるに至れり。貧しく弱く、へり下りたる者の心を傷つけ、また犯罪の原因となりし多くの事が為され、言われ来れり、我々は汝が汝の大いなる慈悲と善意の内に、汝の民がこの方面に於て犯せる罪を許したまわんことを乞ひ奉る。お、父よ、彼らにその誤りを示したまえ、而して彼らが汝の聖なるみたまの内に、それらのことを見、真に心から悔い改め、すべての人の子が汝の望むが如き相互の親睦感と愛の精神を培うよう、

これは汝の聖徒たちが他のすべての者に勝りて持つべきところのものなり。汝の民をして今後は敵対と痛烈さを避けしめ、汝の聖なるみたまを悲しめますが如き政治的言語および行動より遠ざかるようなさしめたまえ。

父なる神よ、汝の民がこの聖なる家に入り汝に乞い求むる機会を持ち得ずして、問題に悩まされ、困難に取巻かれ或は誘惑に攻められ、その顔を汝の聖なる家に向け、汝の救いと援助の御手を求め、汝の能力が彼らに及ばんことを乞い求めて居る時、神よ汝の大いなる慈悲の内に汝の聖なる御座より彼らを見下し彼らの叫び声を聞きたまえ、或はまた汝の民の子孫か將來如何なる理由にせよこの地より分離して後その心にこの聖なる神殿になせる汝の約束を憶い起し、その深き悩みと悲しみの内より汝に向いてその救出と解放を叫ぶ時、何とぞ、なさけを以て汝の耳を彼等に傾け、彼等の叫び声を聞き、彼らの求むる祝福を彼らに与えたまえ。

全能の父よ、汝の聖徒たちが授けられ所持したる信仰の能力を我らの内に増し加えたまえ。悪が我々を覆い困難なる問題が我々を囲み、我々が屈辱の谷間を歩む時、ゆるぐことなく疑うことなく、汝の聖なる御名の内に強

く立ち、我々に関する汝の義なる目的を完成することが出来るよう、我らの造られたる目的を成就するよう、汝の栄光により、すべての妨害する罪に榮えある凱旋者となり、すべての悪より贖われ、天国にて汝の御前に永久に往まう者の内に数えらるるよう、過去の榮えある解放の記憶を以て、又汝が我々になしたる聖なる誓約を憶い起すことにより、我々を強化したまえ。

父なる神よ。我々は汝を祝福し汝を讚美し、汝に栄光を帰し汝を礼拝し、日々汝を宣傳伝え、汝の大いなる善意に感謝し、且つ我々は汝の子、我々の救主イエス・キリストの御名により、汝がこれらの我々のけんそんなる願いを聞き、我々造られたる限りある者の想像も及ぼす又理解し能わざる無限の能力を以て栄光と権能と威勢と支配の内に發する位、汝の聖なる住居なる天より答えたまわんことを祈り奉る。アーメン又、アーメン

— 完 —

（一八九三年四月六日獻堂）

△今月の出来事▽

ブリガム・ヤングの死

一八七七年八月二十九日ブリガム・ヤング大管長はソルトレーク市の自宅で家族たちに見守られながら此世を去った。時に年七十七。大管長は僅かの間病床に臥しただけであった。八月の十九日にブリガム市に於てシオンのボックスエルダー・ステーク部を組織したのが最後の活動となった。臨終の時に「ジョセフ、ジョセフ、ジョセフ」という言葉が彼の口から洩れ聞えたが、おそらく予言者ジョセフ・スミスと言葉を交わしていたと思われる。九月の二日にタバナクルの中で葬儀が執り行われ、何万という聖徒が列席して偉大な大管長の死に対して心から衷悼の意を表わした。ブリガム・ヤング大管長は空前の偉大な開拓者でありまた植民者であったが、それよりも主の予言者として更に更に偉大な人物であった。

モルモン経(金版)の三人の見証者

姓名	オリヴァ・カウドリ	デビッド・ホイットマー	マーテン・ハリス
出生年月日	1806年10月3日	1805年1月7日	1783年5月18日
出生地	ヴァーモント州 ラトランド郡 ウエルス	ペンシルヴェニア州 ハリスバーグ	ニューヨーク州 アルバニ郡 イーストン
金版を見たとき の年齢	23才	24才	46才
職業	学校教師 法律家	農業	農業
履歴	あまり裕福ではなかった。丈は低く威厳のある、けれども気持のよい顔をしていた。1829年5月15日にバプテスマを受ける、1838年4月12日に破門される、1848年11月にバプテスマを受ける。充分なる正会員たる資格を以て世を去る、モルモン経に関する証詞を決して否定しなかった。	頑強な体格で中丈、黒い眼、非常にハンサム。1827年6月にバプテスマを受ける、1838年4月13日に破門される、教会に戻らなかった。しかし彼の証詞を決して否定しなかった。	豪農、1830年4月6日にバプテスマを受ける、1837年12月の最後の週に破門される。1842年11月7日にバプテスマを受ける、1870年9月17日ユタ州ソルトレーク市でバプテスマを受ける、金版に就ての彼の証詞を決して否定しなかった。充分なる正会員たる資格を以て世を去る。
死亡	1850年3月3日 ミズーリ州 リッチモンド	1888年1月25日 ミズーリ州 リッチモンド	1875年7月10日 ユタ州 クラークストン

若き末日聖徒の為の

モルモン経物語

(二二二)

エマ・マー・ピーターソン著
渡部正雄訳

キリストの死の徴し

ニーファイ第三書、第八章

イエスが降誕して三十四年目の最初の月の四日目にアマ
リカに彼の死のしるしが現れました。

レーマン人サムエルがゼラヘムラの城壁から説教した時
その事に就て述べました。忠実な聖徒達はその来たるのを
見守りましたが悪人共はしるしなどないと言いました。

最初のしるしはゼラヘムラ一帯に起った大暴風でありま
した。雷鳴は地をゆるがす程の大ききでした。誰もいま
で見たこともない程の映ゆい閃光でした。大都市ゼラヘム
ラは焼失してしまいました。

大地震が地をゆすぶりました。大つなみが広大な地にお
しよせて来ました。モロナイ市は地の中に沈み海がその上
に来てそこに住んでいた人を皆おぼらせてしまいました。
モロナイハ市の上に土が落ちて市を埋め高い山となつて
しまいました。南方の地方にも大きな破壊がありました。が
北方の地帯は更に烈しく全地面がすっかり変つてしまいま
した。道路は破壊され平坦な道は崩れ平らな処はでこぼ
こになつてしまいました。

ニーファイ人の多くの主要都市が地中に埋まり水に覆わ
れた。他の町は焼けたり、地震で崩壊したりしました。
多くの者が生命を失いました。或町は滅亡しませんでした
が大きな損害を受けました。吹きさらされてしまった人

々は二度と帰って来ない程烈しい風でした。

大きな岩はこなくくに砕け地層は裂け開きました。地層は割れて切断されてしまいました。

この崩壊は三時間続きそれから突然暗闇が全地を覆いました。その闇は人々が地上を覆い重い蒸気のようなものを感じず程の暗さでした。その蒸気は人々が明りをつけ火をとす事も出来ない程の濃さでした。

何処にも光のかけすら見えず太陽も月も星も輝きませんでした。この暗闇は三日間続きました。

人々は非常に恐れしました。人々はその襲って来た破壊の為に泣き悲しみ彼らの内或者は「この大きな恐ろしい時が来ない前に悔い改めておけばよかったものを。悔い改めておいたならばわが兄弟たちは命を助けられて大きな都ゼラヘムラで焼け死ななかつたものを」と叫びました。

また他の者は「この大きな恐ろしい時が来ない前に悔い改めて予言者らを殺さず、石でこれを撃たず、また追いつたものをよかつたものを。このようなことをしなかつたならばわれらの母や美しい娘や息子たちは命を助けられて、大きな都モロナイハ市で生き埋めにされることはなかつたものを」と言いました。

モルモン経典の中には「民の歎きとうめきとはまことに甚しくまた恐ろしいものであった」と述べてあります。

救主は語る

ニーフアイ第三書、第九章及第十章

救主の死の時にアメリカを襲った烈しい暴風に続いて静かな沈黙となった時声が聞えました。暴風または地震で死ななかつたすべての人はその声を聞きました。それは次のように言い始めました。「禍なるかな禍なるかな、この民は禍なるかな、全世界の人々は悔改めなければ禍なり、我が民の中に死んだ美しい男子と女子との為に悪魔は笑いの使たちは共に楽しみ喜んでゐる。けれどもこの美しい男子と女子との亡びたるは彼らの自ら為した悪事と憎むべき行の結果である」と。

次にその声は滅亡に就て更に多くを語った。

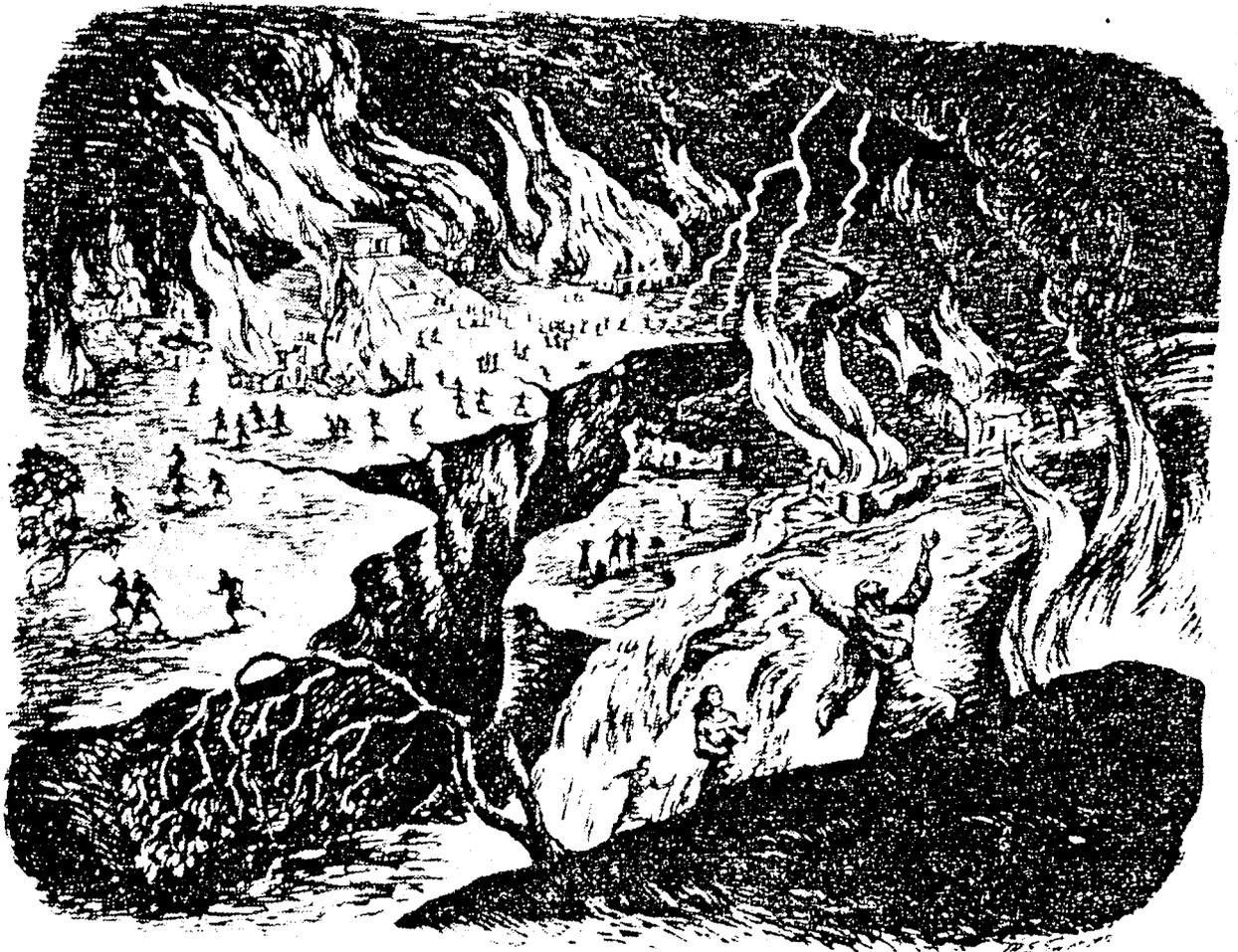
「見よ、我は大なる都ゼラヘムラと其住民とを焼き払わせ、大いなる都モロナイ市を海の深みに沈めて其の住民を之と共に溺れさせた。又予言者らと、聖徒らとの血の叫びが、我にモロナイハ市の住民をもはや訴うることをなきやうに大いなる都モロナイハ市を其の住民と共に土もて覆いかぶせ、其の悪事と憎むべき行とを我が目の前より隠したり。」

「見よ、又我はギルガル市を其の住民と共に地の中に深く埋めた、オナイハ市と共に其の住民を、モークム市と共に其の住民を、エルサレム市と共に其の住民をも亦地の中

に埋めた、而して予言者等と聖徒らの血の叫びが我にこれらの都市の住民をもはや訴えることのないよう都市の跡に水を上り来させて住民の悪事と憎むべき行を我が目の前より隠したり。」

一又ガデアンダイ市、ガデオムナ市、ヤコブ市及びギムギムノ市を埋めて其の跡を岡や谷とし予言者らと聖徒らとの血の叫びが、われにこれらの都市の住民をもはや訴うることのないように、其の住民をも共に地の中に埋めて其の悪事と憎むべき行とを我が目の前より隠したり。更に又ヤコブ王の民の住んだ大なるヤコブガツ市を其の住民が罪悪と悪事とを為したる為に焼き払はせた。ヤコブガツ市の住民の罪悪は彼等の中に生じた暗殺並に秘密結社の為全世界の如何なる民の罪悪よりも甚しかった。我が国民の平和を破って政府を顛覆した者はヤコブガツ市の民であるから予言者等と聖徒等との血が最早聞えて之を訴えることのないよう我は之を焼き殺して我が目の前より亡び去らしめた。」

「またレーマン市、ジョン市、ガド市及びキンクメン市と此等の中の住民とを共に焼き払わしめた。何となれば彼等は予言者等を追出し又我が彼等に其の罪悪と憎むべき行を諫めようとして遣わした者共を石で撃った。そのように予言者等と我が遣わした



キリストの死のしるし

者共とを悉く追出したから其中に義人は一人も残らなかつた。乃ち我は彼等の所に遣わした予言者達と聖徒等との血が声のやうに地の中から我に聞えて彼等を訴えることないやうにと火を降して此等の都市の人々を焼亡ぼし彼等の罪悪及び憎むべき行を我が目の前より去らしめた」

「尙此の他に此地の住民の罪悪及び憎むべき行の為に地とその中に住む民とに諸々の大きな破壊を及ぼした。さてこれらの亡びたる者よりも義しきが故に生命を助けられたるすべての者どもよ、我が汝らを癒すを得るために汝らは今我に立ち帰りて罪を悔いまた心を改めざるか、誠に我汝らに告げん、若し我に来れば永遠の生命を得。見よ我は憐み深き手を、汝等に向いて伸べたれば凡て我に来る者は幸福なり、我之を迎え入るればなり。」

「見よ、我は神の子イエス・キリストなり、我は天地と其の中に在る万物を造れり。我は始めより天父と共に在りき。而して今我は御父に在り御父は我にまします、御父は既に我々に由て己が御名の栄光を示し給うた。」

「我は我が民の所へ降りしが彼等は我を受け容れざりき即ち我が来ることを示す聖文は已に事実となりたり。」

再び主は彼等に悔改めをうながし浸礼バプティスムの必要を告げそして主が世の罪を贖う為に来たと言いました。

主は再び口を開いて「この故に悔改めて幼子のように我に来る者は我は悉く之を迎入れるであろう。それはそのよ

うな人たちは己に神の御国に居る者と同じであるからである、我は彼等の為に一旦我が生命を棄て、後再び之を得た。世界の隅々に至る者たちよ、悔い改めて我に來りて救いを受けよ」と言いました。

すべての人がその声を聞きました。主が語って後再び幾時間もの沈黙が続きました。人々はその声にびっくりして泣き叫びを止め待ちました。

長い沈黙の後再び声が聞えて來ました。

「破壊せられた是等の大なる都会の住民なるヤコブの子孫、即ちイスラエルの家に属する者よ、雌鳥がその雛を翼の下に集めるやうに我は幾度汝らを集めんと望みしことぞ」と。

そこで主は破壊から救われた人々に向つて「我が救いしイスラエル家の民よ、雌鳥が其の雛を翼の下に集めるやうに我がお前等を集めようとした事は幾度であることか、お前等が真心を以て悔改め且我に立ち帰るやうにと」

主は若し彼等がその利己心と罪を退けるなら今後とも悔改めて主に立帰り祝福を受ける機会を与えようとしたのでありました。けれども彼らがそれに応じないなら更に破壊が彼らの身に及ぶでしょう。そこで主は言いました。一イスラエル家の民よ、若しお前等がそのやうにしなければ我がお前等の先祖に立てた誓約の成る迄お前等の住む処は荒廢しているであろう」と。

伝道本部だより

解任

マリイ・クルック姉妹とシャリー・モリカワ姉妹は七月二十日任期満了解任された。
メイザー・テリー長老は七月二十七日同じく解任された。

宣教師異動

シャリー・ヨネモリ姉妹 広島へ
キヤロル・A・アルマン姉妹 横浜へ
ユキエ・村上姉妹 岡町へ
グロラ・B・ホーブス姉妹 札幌へ
リア・M・エベレット姉妹 本部へ
デルレイ・ブラウ長老 名古屋へ
デビド・テイラー長老 福岡へ
ロバート・バンダイク長老 東京西へ

ゲイラン・ハリス長老 東京西へ

ジャン・チャドウィック長老 韓国へ

オルトン・タイナー長老 韓国へ

ルイス・J・アダムス長老 東京中央へ

ピーター・ブラック長老 東京北へ

アルバート・ハフマン長老 韓国へ

任命

ジイミー・フォックス長老 北海道地方部長
ロバート・デイビス長老 名古屋支部長
バプテスマ
阿部圭祐 阿倍野
小島敏夫 阿倍野
南条好子 阿倍野
米田邦子 阿倍野
後藤恭 福岡

吉野昭江 岸谷外男 藤田進一 吉村薫 徳田茂宗 福島敬子 安藤かえ子 芦田春栄 梶原富士子 梶原道子 是永伸利 三井美恵子 唐金昌子 片桐秀子 菱刈功三 鈴木正三 築田祥三 清水義雄 川中秀典 田中秀典 荒井千賀子 松ノ井千賀子 西野早苗 岩淵陽子 川口富士子 田中郁子 水島淳一 山内正一 新垣正子 外間シゲ

廣島 新垣淳市 金沢 佐久真剛 甲府 佐久真曙 松本 新木恵一 新垣正倉 新垣正倉 他に韓国に二十四名のバプテスマがありました。

神権

○執事
大山良弘 群馬
荻原勝利 甲府
和田肇 松本
和沼一利 小樽
内藤忠利 東京南
清野清光 山形
荻野正弘 横浜
西井巖 〃
○教師
浅沼勝輔 岡町
○祭司
西原良男 広島
佐藤襄二 東京北
○長老
藤田秀光 札幌
他に韓国に執事三名、教師十名、祭司七名の聖任があった。

◇◇読者交歓室◇◇

大空を通じて交歓したい

東京にいと地方の支部の皆様とお話が出来るのは年に数回の大会の折だけ、それも地方部が異なるとなかなかお会いする時がありません。それは地方にいらっしゃる皆様でもやはり同じことだと思います。

夏の夕方の涼みがてらに、秋の夜長のつれづれに、楽しいファイヤサイドの一時を地方の皆様とお話しをしながら過ごせたら、どんなに楽しいか解りません。

そしてその上に、ハワイ、オーストラリア、ニュージランド、はてはヨーロッパのモルモンと、そしてロスアンジェルス、ソルトレークの教会の方と如何に下手な英語を操ったとしても、話し合う時があったなら、お互いに証詞を強めあう絶好のチャンスになると思います。

アマチュア無線々という趣味がこの夢をかなえてくれるのです。

戦後の電気通信技術の進歩と共に一般大衆のものとなったこのハ

ムの道は国家試験により技術士の資格を受けなければ入れませんが、今年からその方法が簡略化されると共に中学生程度の知識と理解力があれば資格を取ることが出来るようになりました。そして東京中央支部に於て佐藤龍猪兄弟、山田義郎兄弟、佐藤泰生兄弟の三名がアマチュア局を持つことになりました。

「神を愛するもの、すなわち御旨によりて召されたる者の為には、凡ての事相働きて益となるを我らは知る」(ロマ書八〇二八)

この聖徒の道を御読みの皆様の中で、すでに免許をお持ちの方、短波通信に興味のある方、無線のムの方を知らなくても他の支部の方とお話することに関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら東京中央支部・佐藤泰生兄弟まで御連絡下さい。

そしてアマチュア無線という趣味を通じて地方の支部の皆様が又世界中のモルモンが毎日お互い同志理解し合い、協力し合い、励まし合うことによって御国の建設に

尽す日の近からんことを祈っております。

「凡ての事は汝らの益なり、これ多くの人によりて御恵の増し加はり、感謝いや増りて神の栄光の顯れん為なり」(コリント後書四一十五)

(現在運用中のアマチュア局は、J A I A V S、周波数7 mc、50 mc 空中線電力10 W、短波帯ビーム方向は約東北東、超短波はロータリー) (東京中央・佐藤泰生)

刺 激 物

「酒精、煙草、茶、珈琲、胡椒芥子、是れ皆な害の伴う刺激物なり、吾人は薬品としての外は一切之を用ゆべからざるなり。」

害の伴はざる刺激物は日光なり、清水なり、淡白なる食物なり、神の真理なり、吾人疲労倦怠を感じる時、後者に行て前者に至るべからざるなり(明治三十四・四) 原文のまま。

この一文を読まれた兄弟姉妹の大半が、「知恵の言葉」として知られている教義と聖約八十九章を思うに違いない。しかし、教義に精通している方なら誰でも、一瞬げげんな様相を脳裡にかすめるこ

とであろう。大変似通っているようでもあり、異っているようでもあるから尤もである。何故ならば、この短文は、日本における傑出した宗教家の一人であった内村鑑三先生(一八六一—一九三〇)の言葉だからである。このテーマと原文はそのまま、先生が当時主宰されていた雑誌「聖書之研究」に載せられたものである。私がこゝで大変興味深く思うのは、教義と聖約八十九章との比較に於て見出される共通性である。この聖句が予言者ジョセフ・スミスに啓示されたのは、一八三三年二月廿七日であり、時代的背景からして、内村先生が一八八四年には渡米して、アマスト大学に学ばれて居るし、又日本に伝道部が作られたのが一九〇一年であり、先生はその当時「聖書之研究」に精魂を注がれて居った時代であることからして、モルモンの教えを多少なりとも知り得て居る筈である。先生は科学者でもあったことから、前掲の文章の如き言葉も充分言い得たと思われるにしても、この共通性は、まさに、八十九章を先生自身が自らの体験を以て証詞されて居ることに注目させられるのであ

る。先生は第一に、世界のあらゆる教会の眞実性について疑問を持たったこと、第二に、この一文による共通点の二つからして、モルモンの生活にかなり近い生活をしておられたことが窺えるのである。今にして、「知恵の言葉」にあげられたものが世界の医学者によって強調され、人々の全く認めるところとなつたが、日本人として、しかも高崎藩士の子として江戸に生まれて、生涯日本の民族性及び国を愛された先生が、茶々をもあげられていることには、全く先見の明と言おうか、いや、より多くの靈感を受けていたに違いないと思われるのである。このように考えてみると、内村先生が、モルモンの眞の福音にあづかる機会をもたなかつたことが大変残念に思われるのである。先生の無教主義は、眞の神の教会を見出せなかつたが故につくられたのであり、神の直接の啓示及び神権によつて創設された末日聖徒イエスキリスト教会とは大いに異なるものと思われる。それ故、内村先生がモルモンの完き教義を深く研究されていたならば、恐らくはモルモンの信者となつていたであらう。

予言者ジョセフ・スミスのうけた啓示は、今や日本の中から、しかも教会の外からも証詞されてゆくことに、私は末日聖徒イエスキリスト教会の教える福音の眞理を益々身近に憶えると共に、全能の父なる神に堪えざる感謝を捧げるのである。

(東京中央・武川忠義)

よいこと、好まじきこと

「教会の集會があるので、きょうは先に失礼するよ」

「週日の夕方になんの集會だい」
「MIAといつて若い人たちのレクリエーションの集會さ。コーラス、演劇、ダンスなんかをするんだよ」

「ほー、変わった教会だな」

学校(国際キリスト教大学)の課外活動に参加しているとき、よくこんな会話をしている。教会では良いレクリエーションを通しても人々の良い発達を促すようつとめているということの説明するといよいよわかつたような、変てこな顔をする。教会でダンスや演劇をやること自体変だという考えが一般的になつていくわけだ。
MIAの標準は「たとえ素人で

あつても、催物はすべて最高水準でなければならぬ」と述べている。また教会初期の指導者であるブリガム・ヤングは「ダンスは苦しみ悩みを自分のかかとかから除き去る援けとなるので聖徒たちにとつてとても良い活動だ」と語っている。

わたしたち末日聖徒は、すべて良いことに主の祝福があり、聖靈の助けがあることを知っている。信仰箇条十三条にあるように、すべて良いこと、徳高きこと、好まじきことをわたしたちは積極的

に受け入れようとしているわけだ。「教会はどういう姿勢でいるのだろうか」と問われたら、「教会はいつても前向きな姿勢ですよ」と答えることにしている。

(東京西・早川嘉春)

お手紙交歓したい

左記会員は日本の女性の会員で十六才ぐらいの方との文通希望があります。

ELAINE PALMER
3516 EAST CAMPBELL AVE
England

PHOENIX ARIZONA

ペンフレンドを求む

拝啓

私は貴伝道部の住所を末日聖徒イエスキリスト教会発行のパンフレットの裏側で知りました。私は教会に関係している者ではありませんが、このことを余りお考えにならずに、私の便りにお返事下さるなら大変ありがたいと思ひます。日本の方々とお通じしたいと思ひ居りましたが、日本の方々を知る機会が他にございませんので、ぶしつけとは存じますが、伝道部あてにお手紙を書かせて戴きました。私は英国人で十五才です。出来るなら同じ位の女のあなたとお友だちになりたいと思ひ居ります。次の住所にお便り下さるなら大変うれしく思ひます。

さようなら

Valeril Howes

20, Tower Road

Rugby, Warwickshire

England

◆◆読者交歓室◆◆

支部所在地

阿部野 大阪市東住吉区田辺東町七ノ二
 旭川 旭川市八条五丁目
 福岡 福岡市薬院大通二ノ五五
 群馬 高崎市並榎町二七五
 広島 広島市古田町古江四〇〇ノ三
 金沢 金沢市成瀬町一ノ四 野田方
 甲府 甲府市富士見町一
 松本 松本市沢村一六〇四
 室蘭 室蘭市幸町八九
 名古屋 名古屋市昭和区北山町三ノ四一
 新潟 新潟市中大畑町五五七 金井方
 西ノ宮 兵庫県西ノ宮市田代町一八一
 岡町 大阪府豊中市岡町北二ノ一八
 岡山 岡山市国富一ノ一九 丹下方
 小樽 小樽市宮岡町一ノ三五
 三ノ宮 神戸市灘区絡原本町四ノ三五
 札幌 札幌市北二条西二四丁目
 仙台 仙台市光禅寺通り二八
 東京中央 東京都渋谷区八幡通一ノ三四
 東京北 東京都豊島区椎名町四ノ二〇六八
 東京南 東京都大田区南千束町二四九
 東京西 東京都武蔵野市吉祥寺三六八
 山形 山形市諏訪町三九七
 柳井 山口県柳井市今市三九一
 横浜 横浜市港北区篠原二九
 横濱 横濱市野澤村野嵩区三二八
 普天間 沖繩宜野湾村野嵩区三二八
 那覇 沖繩那覇市松尾区一三九

編集後記

本誌は紙質印刷共に一流機関紙としての体裁を具えてまいりました。更に要望されるのは良い内容であります。私は大管長、伝道部長、メッセージ及びモルモンの教義の係りですから何とぞ御鞭撻をお願いします。

(佐藤竜)

本伝道部に於ける系図の仕事はやつとその端緒を開いたに過ぎませんが限られた紙面の都合上今後特に系図のページの欄を設けないことになりました。然し系図探求上又は記録作成に当つての貴重な体験、尊い証詞は、すべての会員に対する参考として又よい模範、刺戟として掲載し度いと思えます。尙質問及び報告等は従前通り直接伝道部系図委員会宛御送付下さい(渡部)

毎月多くのよき会員より発表される「私の改宗談」を興味をもって読んでいますが、今月号の吉宗姉妹の改宗談は特に小生

の伝道中の事を憶い出させて下さり、非常に懐かしいものでした。改宗者の方々が永遠の生命を得られる様心からお祈りするものです。

(今井)

モルモン経物語は十二月号で一応最終回といたしたいと思うので途中少しとばして行きます。来年からは佐藤竜猪兄弟の訳による仮称「教会歴史粹」を掲載致しますから御期待下さい。現在の教会略史の訳は古くすでに原本も失せて居りますので引き合せてその訳を正すことも出来ず不便を感じて居りました。

「教会歴史粹」はやがて単行本になるでしょうがそれまで掲載致します。

今月号より読者の交歓室を設けまし

月刊「聖徒の道」第三卷第八号

一九五九年八月一日発行

実価 一ヶ年 三百円

一部 三十円

編集兼
 発行人

ポール・C・アンドラス

発行所

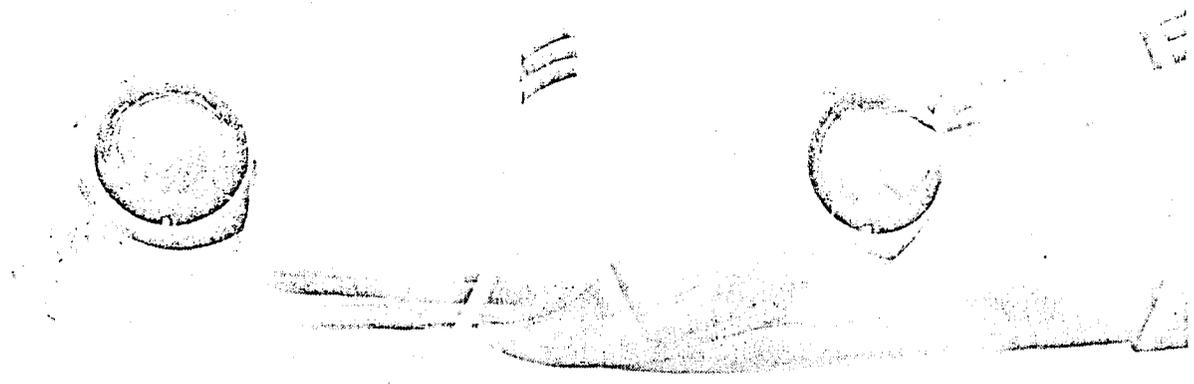
東京都港区麻布広尾町十四

末日聖徒イエス・キリスト教会

北部極東伝道部

(大塚)

Fly straight to North America



via **CANADIAN PACIFIC's**

BRITANNIA

trans Pacific 14 hours to Vancouver
trans Canada daily service to Montreal

More on CPAL's Britannia service—this magnificent jet-prop airliner is now serving on the new transcontinental "Canadian Empress" route across Canada between Vancouver-Winnipeg-Toronto-Montreal. We know passengers from Tokyo bound for the United States will be interested in this new service, for excellent connections are available to major U.S. cities. You will enjoy the smoothest flight over the Canadian Rockies and across the continent, as well as across the Pacific.

For further information, call your travel agent or a Canadian Pacific office.

Tokyo-Nikkatsu Int'l Bldg. Tel: 28-7426/9

Osaka-Hankyu Koku Bldg.

Imperial Hotel

Tel. 59-2075

Tel: 36-0986

美術印刷

企画・編集

撮影・図案

高級美術印刷
原色写真印刷

どんな印刷でも
お気軽にご相談下さい

合名 三五堂
会社

東京都渋谷区八幡通2-15
電話(46)~1787-8690